

宮川流域下水道（宮川処理区）

宮川浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 汚 水 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1) 宮川浄化センター施設配置図

経過の概要

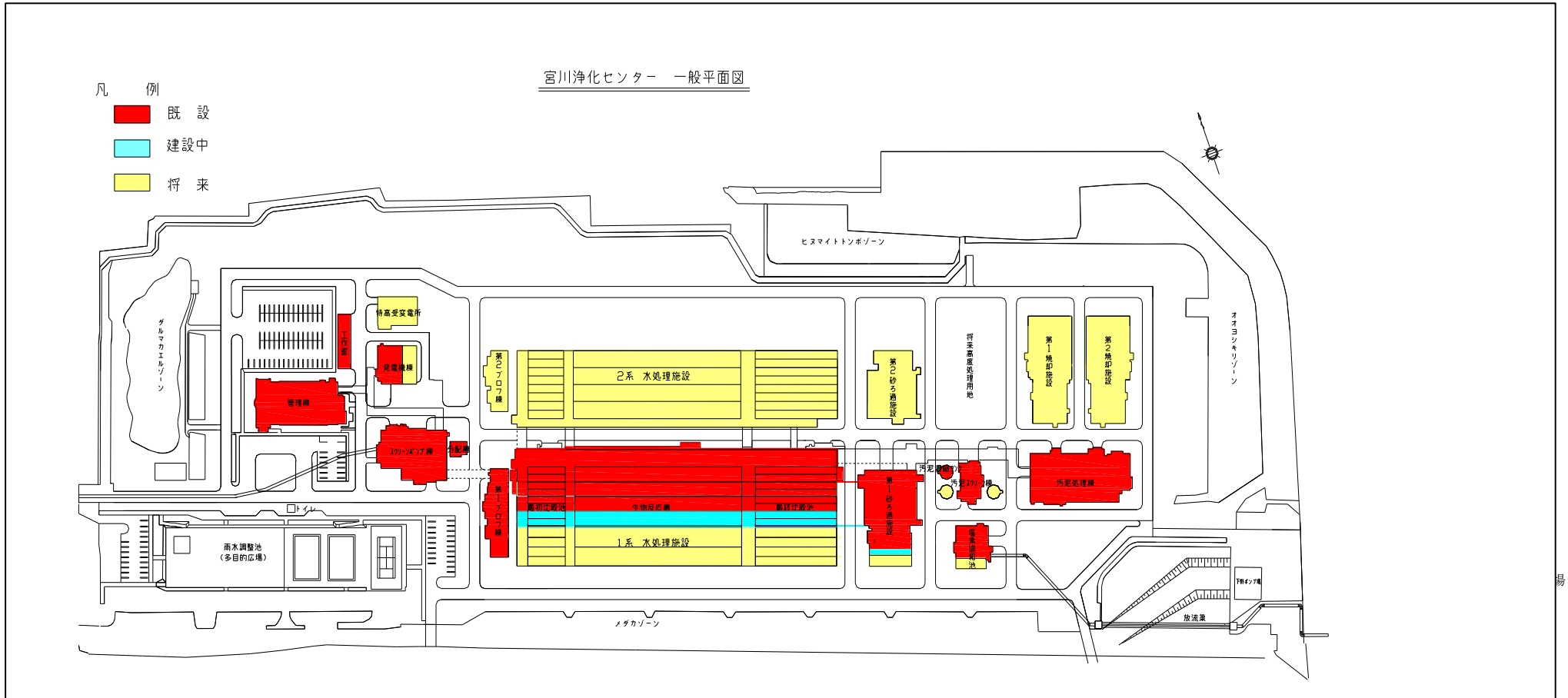
平成10年 8月11日	宮川流域下水道(宮川処理区)都市計画決定
平成10年12月 2日	都市計画法による事業認可
平成11年 3月26日	下水道法による事業認可
平成14年 3月20日	幹線管渠工事着工(外宮2・宮川2工区)
平成14年 6月28日	処理場土木建築工事着工(SP棟・水処理)
平成16年 6月23日	処理場機械・電気設備工事着工
平成17年11月 1日	伊勢市、二見町、小俣町、御菌村 合併
平成18年 5月27日	供用開始記念式典
平成18年 6月 1日	供用開始(伊勢市の一部)
平成21年 6月 2日	2池水処理施設完成
平成22年 2月 2日	下水道法による事業変更認可
平成22年 9月 1日	2池水処理施設供用開始
平成23年 5月31日	下水道法による事業変更認可(池容量等変更)
平成23年 9月13日	3池水処理施設完成

計画概要

項目	区分	全体計画	認可計画
処理区域面積(ha)		4,674.0	2,073.8
処理区域内人口(人)		139,830	65,676
処理能力(m ³ /日最大)		75,600	35,600
処理方法		嫌気・無酸素・好気法+凝集剤添加+急速ろ過法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		19.27	19.27

関連公共下水道の内訳

市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口(人)	計画処理水量(m ³)
伊勢市	3,558.0	109,400	60,779
明和町	654.0	17,320	7,731
玉城町	462.0	13,110	6,849
合計	4,674.0	139,830	75,359



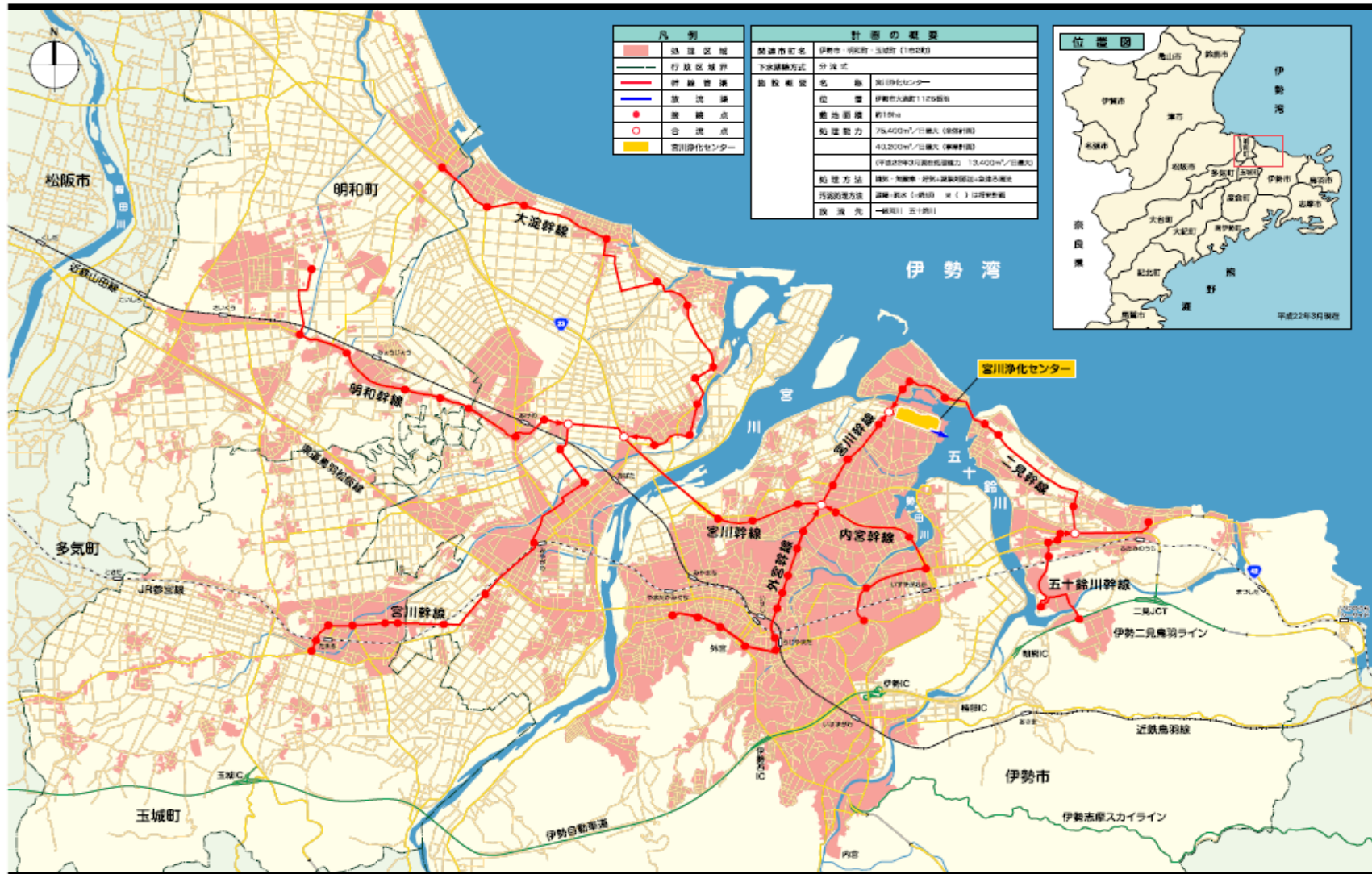
(2)宮川処理区幹線管渠状況図

8幹線	管径150~1,650mm	総延長	46.8km
-----	---------------	-----	--------

(平成23年度 供用開始率 50.21%)

(供用開始延長:累計延長)

幹線名	宮川	内宮	外宮	二見	明和	大淀	五十鈴川	放流渠	計
管径(mm)	1,650 ~800	1,000 ~600	1,000 ~900	800 ~300	800 ~300	600 ~150	440 ~150	1,500 ~1,350	
延長(km)	14.0	3.8	4.6	6.2	6.3	9.3	2.5	0.1	46.8
H23年度	(90.71%) 12.7	(5.26%) 0.2	(100.00%) 4.6	(77.42%) 4.8	(6.35%) 0.4		(32.00%) 0.8	(100.00%) 0.1	(50.43%) 23.6



(3) 施設計画と現況

形状区分 名称	形状寸法	全体計画	平成23年度末現在		
			土木建築	機械電気	摘要
スクリーン	水路幅1.5m	2水路	2水路	1水路	
初期用ポンプ	3.0m ³ /min	1台	—	1台	
主ポンプ	12.0m ³ /min	2台	—	2台	
	14.0m ³ /min	2台	—	1台	
	25.0m ³ /min	2台	—	—	
最初沈殿池	L= 19.0m W=3.9m 有効水深 3.0m	20池	8池	6池	
反応槽 (嫌気槽)	L= 9.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	10池	4池	3池	
反応槽 (無酸素槽)	L= 9.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	10池	4池	3池	
反応槽 (好気槽)	L= 9.0m W=8.0m 有効水深 5.5m	10池	4池	3池	
最終沈殿池	L= 47.0m W=3.9m 有効水深 3.5m	20池	8池	6池	
急速ろ過池 (砂ろ過池)	10m ²	1池	1池	1池	
	15m ²	1池	1池	1池	
	25m ²	5池	3池	2池	
	30m ²	4池	—	—	
塩素混和池	L= 81.3m W=3.0m 有効水深2.5m	2池	1池	1池	
次亜塩素酸ソーダ 貯留槽	5m ³	4槽	—	1槽	
送風機	29m ³ /min	2台	—	2台	
	51m ³ /min	1台	—	1台	
	60m ³ /min	2台	—	1台	
汚泥重力濃縮タンク	φ 7.5m H 4.0m	3槽	1槽	1槽	
脱水機	造粒調質式ベルトプレス ろ布幅 1.5m ろ過速度 180kgDS/m/h	4台	—	3台	
自家発電機	2,000kVA	2台	—	1台	
幹線管渠	φ 200mm～φ 1,650mm	46.7km	23.5km	—	
放流渠	φ 1,350mm～φ 1,500mm	0.1km	0.1km	—	

(4)設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数	
ス ク リ ン 設 備	ス ク リ ン	SP棟流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製電動ゲート、800W×1500H	5.50	2	
		粗目スクリーン	鋼製バースクリーン目幅100mm×取付角度90°	—	2	
		粗目スクリーン吊上装置	電動式チェンブロック、2ton×9m	1.70	1	
		細目スクリーン除塵機	連続式自動除塵機 目幅20mm×取付角度70°	2.20	1	
		ポンプ井流入ゲート	外ネジ式鋳鉄製手動ゲート、800W×1500H	—	2	
		ポンプ井連通ゲート	外ネジ式鋳鉄製手動ゲート、1200W×1200H	—	1	
		リ	No.1スクリーンかす搬出機	トラフ形ベルトコンベヤ 600W×10500L	1.50	1
			スクリーンかす洗浄機	機械攪拌式、1m3/時	3.7+0.75	1
			スクリーンかす脱水機	スクリュー式、1ton/時	5.90	1
			No.2スクリーンかす搬出機	耳棧横棧付垂直ベルトコンベヤ 幅610×水平6.6m垂直28.35m	7.50	1
			スクリーンかす用ホッパ	電動カットゲート式ホッパ、5m3	0.75×2	1
			ポンプ井攪拌機	水中プロペラ式、500Φ	7.40	1
	ン	ポンプ井攪拌機吊上装置	手動式ギヤードトロリ式チェンブロック、0.5ton×9m	—	1	
		No.1搬入用ホイスト	電動トロリ付ホイスト、2.9ton×19m	4.0+0.75	1	
		No.2搬入用チェンブロック	電動式チェンブロック、2.9ton×12m	3.0+0.75	1	
		砂ろ過水切替弁(スクリーン)	電動ボール弁、125Φ	25W	1	
		SP棟給水ユニット	圧力式自動給水ユニット 65Φ×410L/分×44m	7.50	1	
		雨水排水槽	鋼板製角形槽、1m3	—	1	
		雨水排水ポンプ	無閉塞形汚泥ポンプ 80Φ×0.15m3/分×14m	2.20	1	
		維持管理用ホイスト	電動トロリ付ホイスト、1ton×26m	3.5×0.75	1	
		脱 臭 設 備	スクリーン室脱臭ファン	片吸込ターボファン 56m3/分×1.96kPa	3.70	1
			スクリーン室脱臭装置	添着活性炭吸着塔、40m3/分	—	1
	SP棟搬出室脱臭ファン		片吸込ターボファン 44m3/分×1.96kPa	3.70	1	
	SP棟搬出室脱臭装置		添着活性炭吸着塔、44m3/分	—	1	
	SP棟搬出室脱臭切替ダンパ		電動ダンパ、350×350	0.04	1	
	活性炭搬出入クレーン(スクリーン)		手動式ギヤードトロリ付、1ton×5.5m	—	1	
	プ 主 ポ ン プ 設 備	主 ポ ン プ	No.1～2主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ 350Φ×12m3/分×27m	—	2
			No.1～2主ポンプ用電動機	かご形三相誘導、6P、90kW	90.00	2
			No.1～2主ポンプ吐出弁	外ネジ式電動仕切弁、350Φ	0.75	2
			No.3主ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ 350Φ×14m3/分×27m	—	1
			No.3主ポンプ用電動機	かご形三相誘導、6P、110kW	110.00	1
			No.3主ポンプ吸込弁	外ネジ式手動仕切弁、450Φ	—	1
		ン	No.3主ポンプ吐出弁	外ネジ式電動仕切弁、450Φ	1.50	1
			ポンプ井排水ポンプ	吸込スクリュー付汚水ポンプ 200Φ×3m3/分×26m	37.00	1
			床排水ポンプ(ポンプ室)	脱着式水中汚水ポンプ 65Φ×0.3m3/分×13m	1.50	2
			床排水ポンプ吊上装置(ポンプ室)	手動式チェンブロック、0.5ton×2.5m	—	1
天井クレーン			手動走行式クレーン(チェンブロック式)、5ton×22m	—	1	
維持管理用チェンブロック			電動式チェンブロック、2.9ton×21m	3.00	1	
備			砂ろ過水切替弁(ポンプ)	電動式ボール弁、125Φ	85W	1
			ポンプ室軸封水用処理水槽	FRP製、5m3	—	1
			ポンプ室軸封水用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット40Φ×80L/分×55m	3.70	1
			汚水管仕切弁	手動バタ弁、600Φ	—	2
			汚水管連通弁	手動バタ弁、900Φ	—	1

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数
水 処 理 施 設	分 配 槽 設 備	分配槽攪拌機	水中プロペラ式(浮遊式)、113Φ	2.20	2
		分配槽攪拌機吊上装置	手動式ギヤードトローリ無し、0.5ton×3m	—	2
		床排水ポンプ(管理本館～SP棟)	脱着式水中汚水ポンプ 65Φ×0.3m ³ /分×8m	1.50	4
		床排水ポンプ吊上装置(管理本館～SP棟)	手動式、0.5ton×2.5m	—	2
		西側植樹用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット40Φ×0.23m ³ /分×46m	3.70	1
	最 初 沈 殿 池 設 備	初沈バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
		初沈流入可動堰	手動式鋳鉄製外ねじ式、400W×400H	—	6
		初沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式、3900W×19000L	0.40	6
		初沈スカムスキマ	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	6
		初沈汚泥引抜弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	6
		初沈汚泥ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m ³ /分×17m	7.50	2
		初沈スカム移送ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m ³ /分×19m	7.50	2
		初沈スカム戻り弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1
		初沈スカム移送弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1
		初沈排水ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m ³ /分×8m	3.70	1
		床排水ポンプ(初沈)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×13m	2.20	1
		空気源装置(初沈)	圧力スイッチ式、120L/分×0.83MPa	1.50	2
		空気源装置(終沈)	圧力スイッチ式、120L/分×0.83MPa	1.50	2
		空気槽(初沈)	立形円筒槽、1m ³	—	1
		空気槽(終沈)	立形円筒槽、1m ³	—	1
		除湿器(初沈)	冷凍式、120L/分	0.40	1
		除湿器(終沈)	冷凍式、120L/分	0.40	1
		初沈引抜弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁6個収納(全8個収納)	8W	1
	初沈スカム切替弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁2個収納	8W	1	
	反 応 槽 設 備	反応槽バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
		バイパス水路仕切ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	1
		反応槽流入調整弁	電動偏心構造弁、350Φ	0.75	3
		嫌気槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H	3.70	3
		無酸素槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H	3.70	15
		好気槽攪拌機	水中機械式、8000W×9000L×5500H	3.70	4
		好気槽散気装置	全面曝気式、8000W×9000L×5500H、有効発泡面積比3.57%	—	1
		1系No.2-1～2-5好気槽散気装置	メンブレンパネル式、8000W×9000L×5500H	—	5
		1系No.3-1～3-5好気槽散気装置	メンブレンパネル式、8000W×9000L×5500H	—	5
		反応槽仕切ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、500W×500H	—	3
		初期用循環ポンプ	着脱式水中汚水ポンプ、100Φ×1.8m ³ /分×5m	5.50	1
		循環ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、200Φ×3.7(4.0)m ³ /分×5.5m	7.50	6
		曝気用空気調整弁	電油操作式蝶形弁、200Φ	0.40	3
		床排水ポンプ(反応槽)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×13m	2.20	6
	床排水ポンプ(送気管ピット)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×13m	2.20	1	
	水中攪拌機吊上装置	手動式、1ton×4m	—	1	
	最 終 沈 殿 池 設 備	終沈流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、400W×400H	—	6
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式、3900W×47000L	0.40	6
		終沈スカムスキマ(前段)	手動式パイプスキマ、300Φ	—	3
		終沈スカムスキマ(前段)	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	4
		終沈スカムスキマ(後段)	電動式パイプスキマ、300Φ	0.13	6
		終沈汚泥引抜弁	空気作動偏心構造弁、200Φ	—	6
		返送汚泥ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、250Φ×5.7(5.5)m ³ /分×8m	15(11)	3
余剰汚泥ポンプ		吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×0.9m ³ /分×15.5m	5.50	2	
終沈スカム移送ポンプ	吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1m ³ /分×19m	7.50	2		

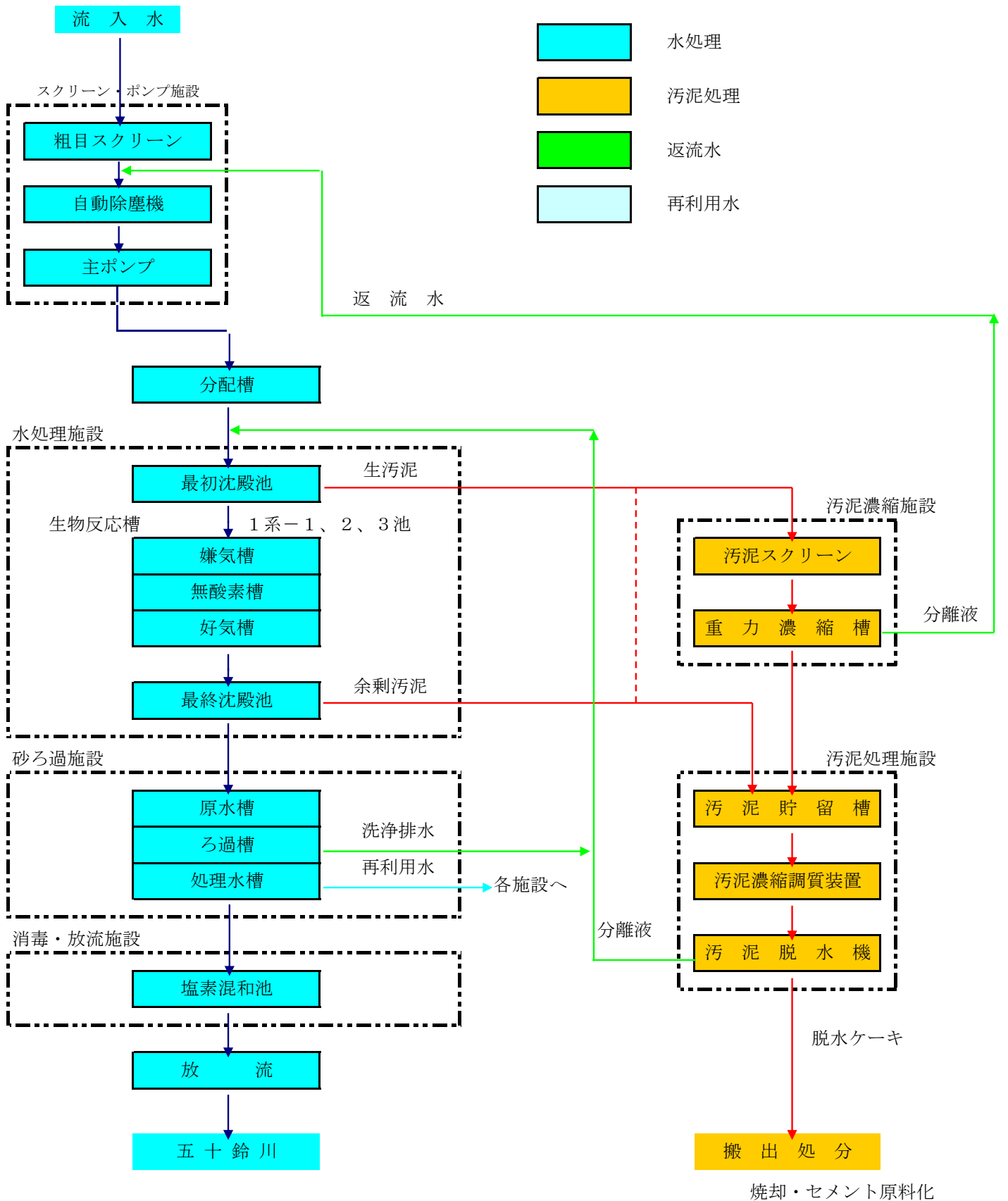
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数	
水処理施設	最終沈殿池設備	終沈スカム戻り弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1	
		終沈スカム移送弁	空気作動偏心構造弁、150Φ	—	1	
		終沈排水ポンプ	吸込スクリー付汚泥ポンプ、150Φ×3m ³ /分×14m	15.00	1	
		終沈引抜弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁4個収納(全6個収納)	8W	1	
		終沈スカム切替弁用電磁弁箱	SUS製、電磁弁2個収納	8W	1	
		床排水ポンプ(終沈)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×13m	2.20	3	
		床排水ポンプ吊上装置(初沈)	手動式、0.5ton×4m	—	1	
		床排水ポンプ吊上装置(反応槽)	手動式、0.5ton×2.5m	—	3	
		床排水ポンプ吊上装置(送気管ピット)	手動式、0.5ton×4m	—	1	
		床排水ポンプ吊上装置(終沈)	手動式、0.5ton×4m×1台、0.5ton×2.5m×1台	—	2	
		終沈汚泥引抜管仕切弁	手動仕切弁、400Φ	—	2	
		兼注設備	PAC貯留タンク	FRP製円筒タンク、7m ³	—	2
	PAC注入ポンプ		ダイヤフラム式、25Φ×0.349~0.643L/分×0.2MPa	0.40	4	
	脱臭設備	No.1水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、58m ³ /分×2.45kPa	5.50	1	
		No.2水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、49m ³ /分×2.8kPa	5.50	1	
		No.3水処理脱臭ファン	片吸込ターボファン、90m ³ /分×2.8kPa	7.50	1	
		No.1水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、58m ³ /分	—	1	
		No.2水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、49m ³ /分	—	1	
		No.3水処理脱臭装置	添着活性炭吸着塔、90m ³ /分	—	1	
		No.1活性炭搬出入クレーン(水処理)	手動式ギヤードトローリ付、1ton×5m	—	1	
		No.2活性炭搬出入クレーン(水処理)	手動式ギヤードトローリ付、1ton×5m	—	1	
	ブロウ棟	ブロウ設備	湿式空気ろ過器(第1ブロウ棟)	回転油膜式湿式空気ろ過器、313m ³ /分	0.20	1
			乾式空気ろ過器(第1ブロウ棟)	自動巻取り型乾式空気ろ過器、313m ³ /分	0.20	1
			ブロウ(第1ブロウ棟)	ルーツ形(水冷式)、200Φ×29m ³ /分×64kPa	—	2
			ブロウ用電動機(第1ブロウ棟)	横軸三相誘導電動機	75.00	2
			ブロウ放風弁(第1ブロウ棟)	電油操作式蝶形弁、65Φ	0.40	2
			No.3ブロウ(第1ブロウ棟)	歯車増速単段ターボ形(水冷式)、200Φ×51m ³ /分×67kPa	90.00	1
			No.3ブロウ吐出弁(第1ブロウ棟)	電動外ねじ仕切り弁、200Φ	0.75	1
No.3ブロウ放風弁(第1ブロウ棟)			電油操作式蝶形弁、150Φ	0.40	1	
No.4ブロウ(第1ブロウ棟)			歯車増速単段ターボ形(水冷式)、200Φ×60m ³ /分×67kPa	110.00	1	
No.4ブロウ吐出弁(第1ブロウ棟)			電動外ねじ仕切り弁、250Φ	0.75	1	
No.4ブロウ放風弁(第1ブロウ棟)			電油操作式蝶形弁、150Φ	0.40	1	
No.1空気弁(A)			手動式バタフライ弁、700Φ	—	1	
No.2空気弁(B)			手動式バタフライ弁、700Φ	—	1	
冷却水ポンプ(第1ブロウ棟)			形吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.35m ³ /分×16m	2.20	2	
ブロウ点検用クレーン(第1ブロウ棟)			手動式(チェンブロック式)、3.5ton×12m	—	1	
床排水ポンプ(第1ブロウ棟)			着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×7m	1.50	3	
床排水ポンプ吊上装置(第1ブロウ棟)			手動式、0.5ton×2.7m	—	2	
砂ろ過水切替弁(第1ブロウ棟)			電動ボール弁、80Φ	23W	1	
砂ろ過施設	砂ろ過設備	砂ろ過設備流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×1200H	—	2	
		高度処理スクリーン	1000W×2700H×目幅3mm	0.40	1	
		原水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×1200H	—	2	
		原水槽連絡ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、600W×600H	—	1	
		1系No1砂ろ過設備バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、900W×1300H	—	1	
		1系No2砂ろ過設備バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、1100W×1000H	—	1	
		原水槽流出ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、900Φ	—	2	
		1系No.1原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ、300Φ×12m ³ /分×10m	30.00	2	
		1系No.2原水ポンプ	横軸渦巻斜流ポンプ、400Φ×20m ³ /分×10m	55.00	1	
		1系No.1原水ポンプ吐出弁	電動バタ弁、300Φ	0.20	2	
		1系No.2原水ポンプ吐出弁	電動バタ弁、400Φ	0.20	1	
		1系No.2原水ポンプ吸込弁	手動仕切弁、400Φ	—	1	
		1系No.2原水ポンプ逆止弁	緩閉式逆止弁、400Φ	—	1	
		1系No.3~4原水ポンプ吸込弁	手動仕切弁、500Φ	—	2	
		原水管止水弁	手動バタ弁、700Φ	—	2	
		原水戻り弁	電動バタ弁、250Φ	0.20	1	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数
砂ろ過施設	砂ろ過設備	調圧水槽可動堰	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×600H	—	3
		1系No.1-1砂ろ過池	上向流移床型、10m ²	—	1
		1系No.1-2砂ろ過池	上向流移床型、15m ²	—	1
		1系No.2砂ろ過池	上向流移床型、25m ³	—	1
		1系No.3砂ろ過池	上向流移床型、25m ³	—	1
		砂ろ過池バイパスゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、1000Φ	—	1
		未消毒水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×800H	—	2
		処理水槽流入ゲート	手動式鋳鉄製外ねじ式、800W×800H	—	2
		洗浄用空気圧縮機	水冷式オイルフリー揺動式、1.7m ³ /分×200kPa	7.50	2
		No.3洗浄用空気圧縮機	水冷式オイルフリー揺動式、4.0m ³ /分×200kPa	15.00	1
		空気槽(砂ろ過)	立形円筒槽、200L	—	3
		空洗電動ボール弁箱	SUS製、4個収納	—	1
		No.2空洗電動ボール弁箱	SUS製、2個収納	—	1
		No.3空洗電動ボール弁箱	SUS製、2個収納	—	1
		洗浄排水ポンプ	無閉塞汚泥ポンプ、100Φ×1.6m ³ /分×8m	11.00	2
		洗浄排水ポンプ吐出弁	電動仕切弁、100Φ	0.20	2
		No.3洗浄排水ポンプ	無閉塞汚泥ポンプ、150Φ×3.2m ³ /分×8m	15.00	1
		No.3洗浄排水ポンプ吐出弁	電動仕切弁、150Φ	0.20	1
		消泡水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、80Φ×0.8m ³ /分×35m	11.00	3
		消泡水ポンプ吐出弁	電動バタフライ弁、300Φ	0.40	1
		水処理砂ろ過散水給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、65Φ×0.44m ³ /分×35m	5.50	1
		水処理軸封水用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、65Φ×0.48m ³ /分×39m	7.50	1
		東側植樹用給水ユニット	圧力式自動給水ユニット、40Φ×0.20m ³ /分×46m	3.70	1
		SP棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、80Φ×0.8m ³ /分×5m	3.70	2
		プロワ棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.4m ³ /分×6m	2.20	2
		管理本館送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、50Φ×0.25m ³ /分×19m	1.50	2
		汚泥処理棟送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、125Φ×2.3m ³ /分×11m	7.50	2
		親水用水設備送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、40Φ×0.15m ³ /分×33m	2.20	2
		生物脱臭送水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ、65Φ×0.45m ³ /分×7m	2.20	1
		床排水ポンプ(砂ろ過)	自給式渦巻きポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×14m	2.20	4
		床排水ポンプ(砂ろ過管廊)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×14m	2.20	2
		床排水ポンプ吊上装置(砂ろ過管廊)	手動式、0.5ton×2.5m	—	1
		機器搬入用吊上装置	電動式チェーンブロック駆、1ton×11m	1.70	1
消毒施設	消毒設備	次亜塩貯槽	立形定置式、5.1m ³	—	1
		放流水次亜塩注入ポンプ	15Φ×0.02~0.308L/分×0.5MPa	0.20	2
		放流水No.3次亜塩注入ポンプ	15Φ×0.04~0.53L/分×0.5MPa	0.20	1
		放流水No.4次亜塩注入ポンプ	25Φ×0.54~1.01L/分×0.49MPa	0.20	1
		機械用水次亜塩注入ポンプ	0.27L/分×0.34MPa	24W	2
		塩素混和池流入ゲート	手動式、1000W×1000H	—	2
		塩素混和池バイパスゲート	手動式、1400W×1400H	—	1

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数	
濃縮汚泥施設	濃縮汚泥設備	初沈汚泥用スクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×4mm幅	0.75×2	1	
		初沈スカムスクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×3mm幅	0.75×2	1	
		終沈スカムスクリーン	回転スクリーン式、2.4m ³ /分×3mm幅	0.4×2	1	
		し渣搬出コンベヤ	無軸スクルーコンベヤ、1.1ton/時以上×搬送距離9850mm	0.75	1	
		し渣脱水機	スクルー式、1.1m ³ /時	5.5+0.4	1	
		し渣ホッパ	電動式鋼板製、4m ³	0.75×2	1	
		濃縮汚泥掻寄機	中央駆動懸垂型、7.5mΦ×4m	0.75	1	
		濃縮汚泥引抜弁	電動偏心構造弁、150Φ	0.40	1	
		濃縮汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式、125Φ×0.9m ³ /分×0.12MPa	7.50	2	
		床排水ポンプ(汚泥スクリーン)	着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×16m	3.70	2	
		床排水ポンプ吊上装置(汚泥スクリーン)	手動式チェーンブロック、0.5ton×3.5m	—	1	
		初沈スカム切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		初沈スカム切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		終沈スカム切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		終沈スカム切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		送泥切替弁(重力槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		送泥切替弁(貯留槽)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
		送泥切替弁(連絡弁)	手動仕切弁、200Φ	—	1	
	維持管理用吊上装置	電動式チェーンブロック、1ton×12.7m	1.70	1		
	脱臭設備	汚泥スクリーン棟生物脱臭装置	充填塔式生物脱臭装置、46m ³ /分	12.90	1	
		汚泥スクリーン棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、46m ³ /分×3.63kPa	7.50	1	
		汚泥スクリーン棟吸着脱臭装置	添着活性炭吸着塔、46m ³ /分	—	1	
		し渣搬出室用脱臭ファン	片吸込ターボファン、59m ³ /分×2.05kPa	3.70	1	
		し渣搬出室用脱臭装置	添着活性炭吸着塔、59m ³ /分	—	1	
		し渣搬出室用脱臭ダンパ	電動ダンパ、□400	0.04	1	
			活性炭搬出入クレーン(重力濃縮)	手動式チェーンブロック、1ton×5.7m	—	1
	汚泥処理棟	汚泥脱水設備	余剰汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁(複作動形)、200Φ	—	4
			重力濃縮汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁(複作動形)、150Φ	—	4
			No.1~2濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2000mmΦ	7.50	2
			No.3~4濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式、羽根径約2250mmΦ	7.50	2
			汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式、150Φ×0.23~0.7m ³ /分×11m	11.00	3
			薬品定量フィーダ	容積式、890~2670CC/分、ホッパ容量400L	0.40	2
薬品溶解タンク			鋼板製円筒形、8m ³	3.70	2	
薬品供給ポンプ			一軸ネジ式、50Φ×14.6~43.9L/分×17m	2.20	4	
無機凝集剤貯槽			FRP製円筒タンク、9m ³	—	2	
無機凝集剤注入ポンプ			ダイヤフラム式、25Φ×0.91~1.22L/分×0.3MPa	0.20	4	
汚泥脱水機			ベルトプレス、ろ布幅1.5m×180kg-DS/m・時	4.45	3	
造粒調質装置			造粒調質ユニット、0.27tds/時	11.20	3	
ケーキ搬送コンベヤ			トラフ形ベルトコンベヤ、W600mm×L16800mm、20m/min	1.50	1	
No2ケーキ搬送コンベヤ			無軸スクルーコンベヤ、Φ280mm×L18000mm、5m ³ /n	3.70	1	
No3ケーキ搬送コンベヤ			無軸スクルーコンベヤ、Φ280mm×L5400mm、5m ³ /n	1.50	1	
No4ケーキ搬送コンベヤ			無軸スクルーコンベヤ、Φ280mm×L5600mm、5m ³ /n	1.50	1	
ケーキ貯留ホッパ			電動式鋼板製、10m ³	1.5×2	2	
空気圧縮機(汚泥処理)			パッケージ式、1200L/分×0.83MPa	11.00	2	
空気槽(汚泥処理)			立形円筒槽、1m ³	—	1	
除湿器(汚泥処理)			冷凍式、1.34m ³ /分	0.25	1	
砂ろ過水切替弁(汚泥処理)			空気作動ボール弁(複作動形)、200Φ	—	2	
ろ布洗浄水ポンプ			多段渦巻ポンプ、50Φ×0.3m ³ /分×65m	7.50	4	
汚泥処理棟給水ユニット			50Φ×0.6m ³ /分×63m	7.5×2	1	
No.1~2分離液移送ポンプ			吸込スクルー付汚泥ポンプ、100Φ×1.0m ³ /分×9m	5.50	2	
No.3~4分離液移送ポンプ			吸込スクルー付汚泥ポンプ、150Φ×2.0m ³ /分×9m	11.00	2	
No.1~2分離液貯留槽攪拌機			立型パドル式、羽根径約2000mmΦ	7.50	2	
No.3分離液貯留槽攪拌機			立型パドル式、羽根径約2250mmΦ	7.50	1	
床排水ポンプ(汚泥処理)			着脱式水中汚水ポンプ、65Φ×0.3m ³ /分×16m	3.70	4	
天井クレーン	サスペンション形手動チェーンブロック、2.5ton×スパン10.8m×揚程8.15m	—	1			

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kw)	台数
汚泥処理棟	汚泥脱水設備	薬品コンテナ吊上装置	電動式チェーンブロック、2ton×12m	1.7+0.4	1
		床排水ポンプ吊上装置(汚泥処理)	手動式チェーンブロック、0.5ton×3.5m	—	2
		余剰汚泥切替弁用電磁弁箱	SUS製、4個(全4個収納)	—	1
		濃縮汚泥切替弁用電磁弁箱	SUS製、4個(全4個収納)	—	1
		砂ろ過水切替弁用電磁弁箱	SUS製、4個(全2個収納)	—	1
		薬品引抜弁用電磁弁箱	SUS製、2個(全2個収納)	—	1
		無機凝集剤引抜弁用電磁弁箱	SUS製、2個(全2個収納)	—	1
		消臭剤噴霧装置	定量電磁ポンプ(タンク付)、400mL/分×0.2MPa	24W×3	1
		No.1維持管理用吊上装置	手動式キャートロリ、1.0ton×7.25m	—	1
	No.2維持管理用吊上装置	電動式チェーンブロック、1.0ton×11.4m	1.70	1	
	脱臭設備	汚泥処理棟生物脱臭装置	充填塔式生物脱臭装置、56m3/分	13.65	1
		汚泥処理棟脱臭ファン	片吸込ターボファン、56m3/分×3.53kPa	7.50	1
		汚泥処理棟吸着脱臭装置	添着活性炭吸着塔、56m3/分	—	1
		ケーキ搬出室用脱臭ファン	片吸込ターボファン、63m3/分×1.96kPa	5.50	1
		ケーキ搬出室用脱臭装置	添着活性炭吸着塔、63m3/分	—	1
		ケーキ搬出室用脱臭切替ダンパ	電動式ダンパ、□450	0.04	1
		活性炭搬出入クレーン(汚泥処理)	手動式チェーンブロック、1.0ton×5.4m	—	1
	環境ゾーン	送水設備	カエル循環ポンプ	水中ポンプ、50Φ×0.0935m3/分×40.3m	3.70
トンボ送水ポンプ			水中ポンプ、50Φ×0.0935m3/分×40.3m	3.70	1
NO.1トンボ送水ポンプ(海水)			水中ポンプ、50Φ×0.0438m3/分×15m	0.75	1
NO.2トンボ送水ポンプ(海水)			水中ポンプ、50Φ×0.0438m3/分×15m	0.75	1
NO.1トンボ排水ポンプ(海水)			水中ポンプ、50Φ×0.280m3/分×7m	1.50	1
NO.2トンボ排水ポンプ(海水)			水中ポンプ、50Φ×0.280m3/分×7m	1.50	1
淡水貯水池ポンプ			水中ポンプ、32Φ×0.070m3/分×5m	0.75	1

(5) 宮川浄化センター処理フロー



(6) 水質管理状況

ア 水処理管理状況の概要

(ア) 流入水量

平成 18 年 6 月 1 日に供用を開始した宮川浄化センターの平成 18 年度の流入水量は 1,122m³/日であったのに比べ、平成 19 年度の流入水量は 3,013m³/日、平成 20 年度は 4,247m³/日、平成 21 年度は 5,539m³/日、平成 22 年度は 6,710m³/日、平成 23 年度は 9,468m³/日と年毎に増加している。

(イ) 流入水質 (BOD、COD、SS、全窒素、全りん及び有害物質等)

平成 23 年度における流入水質は、BOD は 151mg/l、COD は 123mg/l、SS は 212mg/l、全窒素は 35mg/l、全りんは 4.5mg/l であり、平成 21 年度から、平成 22 年度、平成 23 年度と増加傾向にある。

BOD、COD、SS、全窒素及び全りんは、多少のばらつきはあるものの、年間を通してほぼ変化がなかった。

有害物質 27 項目について、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物を除き、全て報告下限値未満であった。

(ウ) 放流水質 (BOD、COD、SS、全窒素、全りん及び有害物質等)

平成 23 年度の放流水質は、BOD、COD、SS 全窒素及び全りんは良好な結果となっている。

有害物質 27 項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物を除き、全て報告下限値未満であった。

供用開始以後の流入水質及び放流水質 (各年度平均) (単位 : mg/l)

	流入水質			放流水質		
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
BOD	130	130	151	1.3	0.8	1.3
COD	100	110	123	7.5	6.7	7.5
SS	160	190	212	<1	<1	<1
全窒素	34	36	35	7.1	6.7	7.1
全りん	3.7	4.1	4.5	0.1	0.1	0.1
有害物質等	報告下限値以下	報告下限値以下	報告下限値以下	報告下限値以下	報告下限値以下	報告下限値以下

(エ) 環境保全に係る取り組み

a 水質自主管理目標値の設定

放流水質についての水質自主管理目標値は、法令（下水道法、水質汚濁防止法）による基準よりさらに低い値を設定しており、特に全窒素及び全りんへの抑制は、周辺海域の富栄養化防止に係る重要因子であることから、厳しい値を目標値としている。

法令の排水基準及び水質自主管理目標値（単位：mg/l pH 除く）

	法令の排水基準	水質自主管理目標値（年平均）
BOD	15	10
COD	—	15
SS	40	5
pH	5.8～8.6	5.8～8.6
全窒素	10	9.5
全りん	1.0	0.5

b 放流水の適切な消毒

処理水の放流に伴う大腸菌などによる汚染を避ける必要性から次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行っているが、残留塩素を極力低減化し、放流先水域の水生生物等に影響を及ぼさないようにしている。

次亜塩素酸ナトリウムの注入率は、有効塩素として0.1mg/Lとなるように注入した。

(オ) 処理水の利用

管理本館内の水洗トイレの洗浄水及び場内植栽への撒き水として利用を図るとともに、自然環境保全を目標としたカエルゾーンやトンボゾーンでも活用している。

イ 月別の水処理状況

平成 23 年 4 月の日平均放流量が、7,087m³であったのに比べて、平成 24 年 3 月の日平均放流量は、10,469m³であり、この 1 年間で 1 日あたりの平均放流量は、約 48%増加しており、処理区域の拡張を反映している。

4 月

T-N濃度日間平均値及びT-P 濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

5 月

5 月中に 20mm 以上の降雨は 4 回あった。

T-N濃度日間平均値及びT-P 濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

6 月

20mm 以上の降雨は 5 回あった。

T-N濃度日間平均値及びT-P 濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

7 月

20mm 以上の降雨は 3 回あり、最大は 180mm であった。

T-N濃度日間平均値が管理目標値を超えることはなかったが、T-P 濃度日間平均値の最大は 0.7 mg/l となり、管理目標値を超過した。

8 月

20mm 以上の降雨は 2 回あった。

T-N濃度日間平均値及びT-P 濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

9 月

20mm 以上の降雨は 5 回あり、最大は 118mm であった。

T-N濃度日間平均値及びT-P 濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

10月

20mm以上の降雨は4回あった。

T-N濃度日間平均値及びT-P濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

11月

20mm以上の降雨は1回あった。

年末、年始の流入汚濁負荷の増加に備え、MLSS濃度を2,600 mg/lに上げた。

T-N濃度日間平均値及びT-P濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

12月

20mm以上の降雨は1回あった。

年末、年始の流入汚濁負荷の増加に備え、引き続きMLSS濃度を2,800 mg/lに上げた。

T-N濃度日間平均値及びT-P濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

1月

年末、年始の流入汚濁負荷の増加、特に年始の窒素負荷の増加に伴うT-N上昇抑制対策としては、MLSS濃度の増加、硝化液循環量の増加及び生物反応槽へのメタノール注入により対応を図った。

この結果、窒素については、例年処理が不安定となる年始も含めて安定した処理を行うことができ、T-N濃度日間平均値は管理目標値を超えることはなかった。また、T-P濃度日間平均値についても管理目標値を超えることはなかった。

1月は20mm以上の降雨はなかった。

2月

20mm以上の降雨は1回あった。

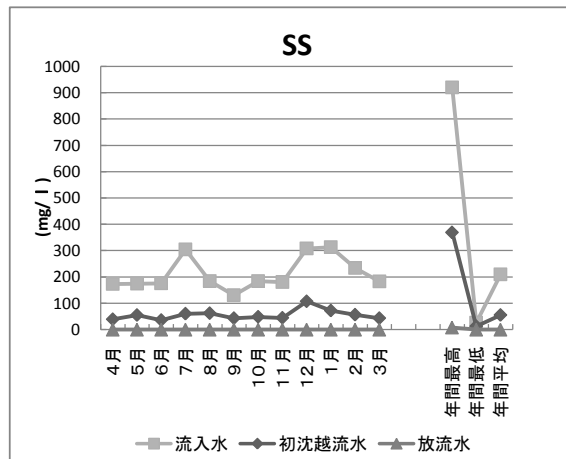
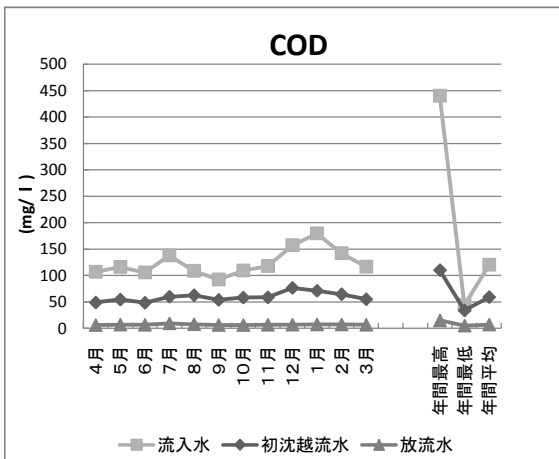
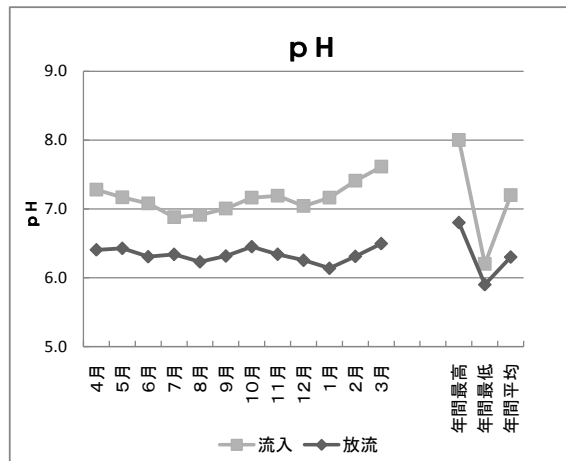
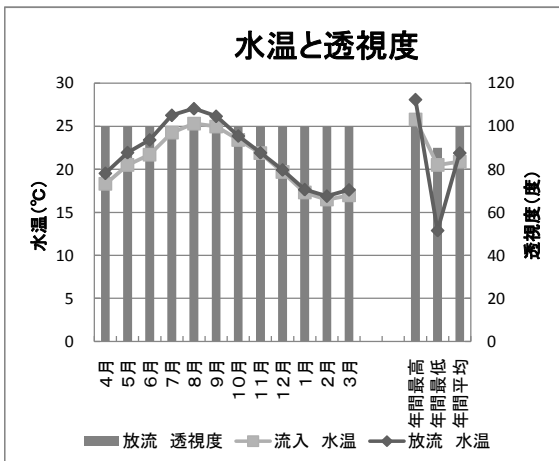
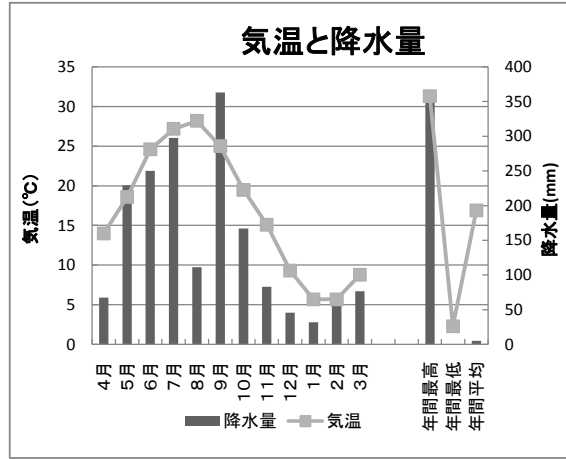
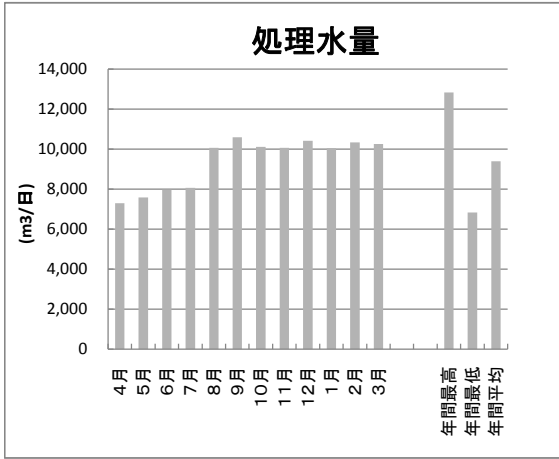
T-N濃度日間平均値及びT-P濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。

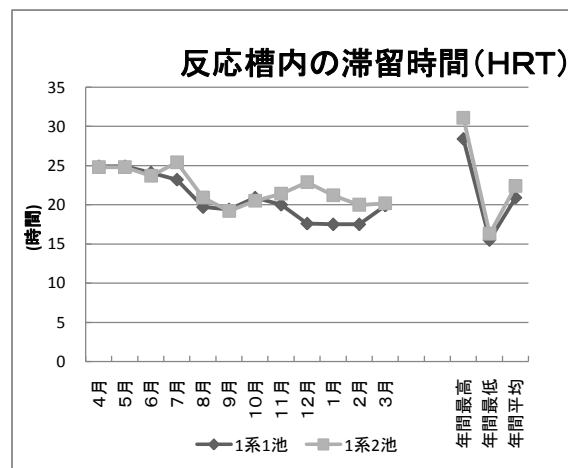
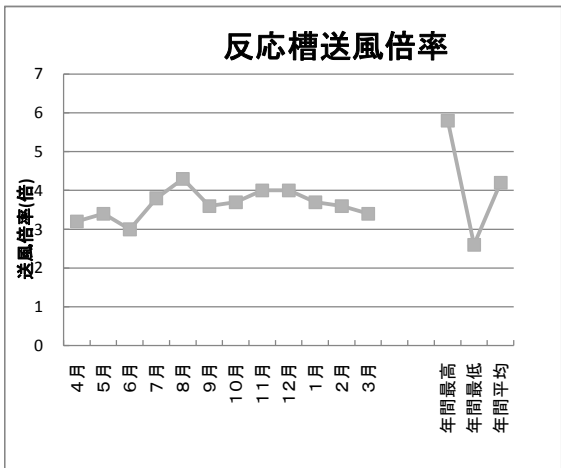
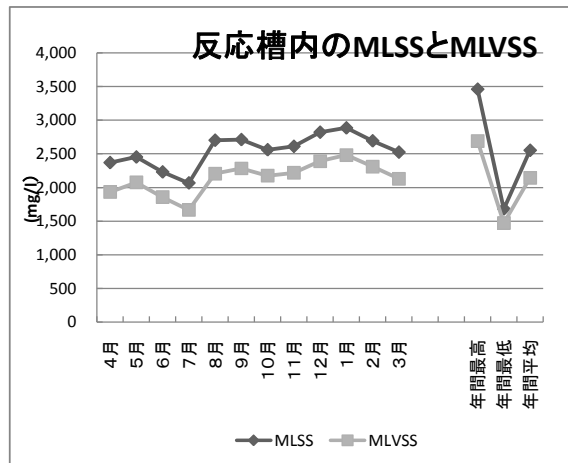
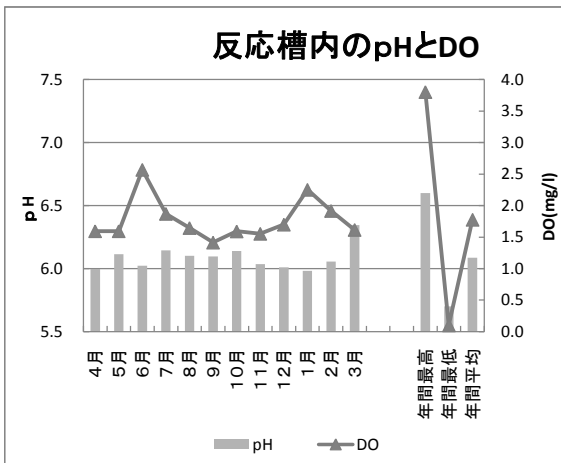
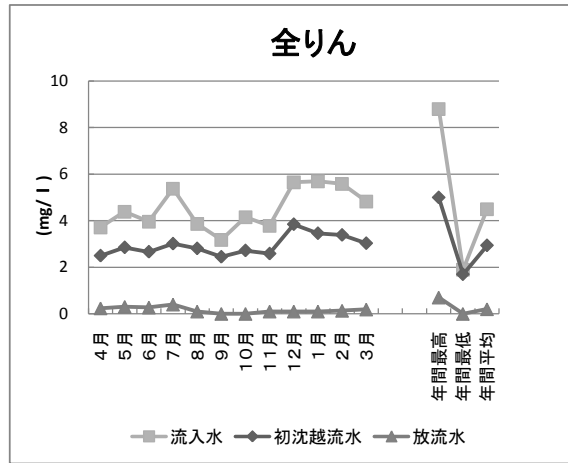
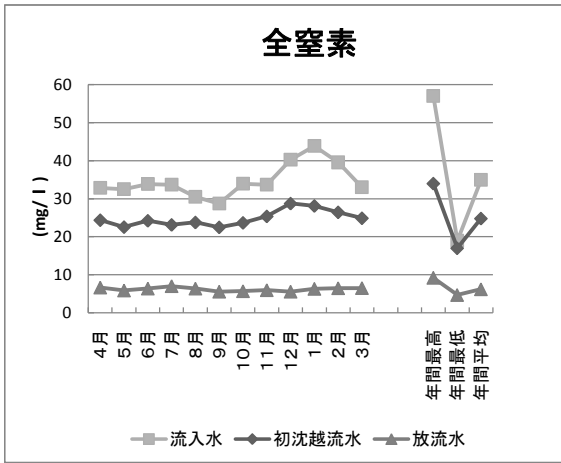
3月

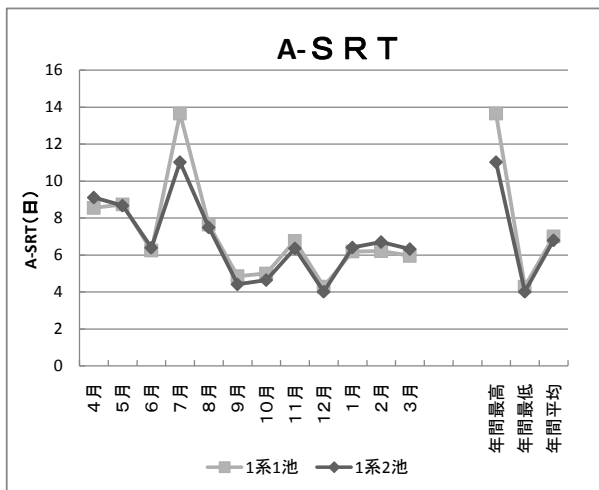
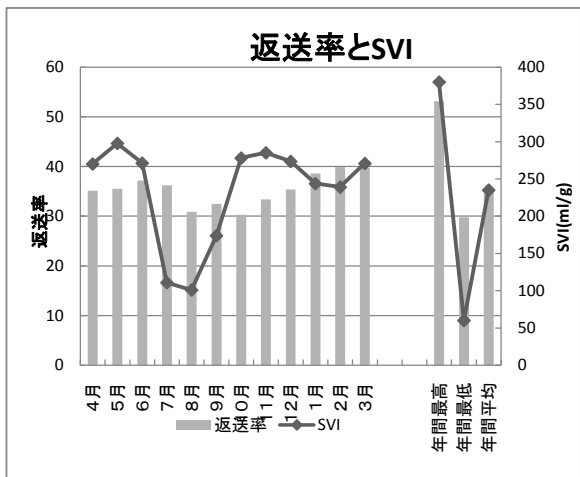
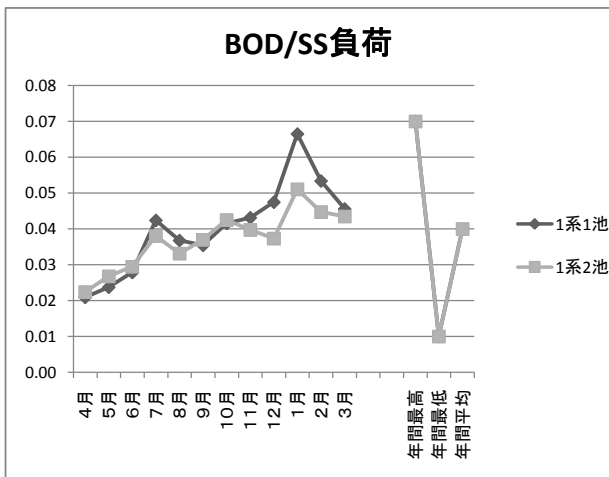
20mm以上の降雨は1日あった。

MLSS濃度は1池2,500mg/l、2池2,600mg/lに下げた。

T-N濃度日間平均値及びT-P濃度日間平均値ともに管理目標値を超えることはなかった。







備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月平均の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。

(10) 施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番号	工事名称	整備内容
1	1池反応槽水中攪拌機分解整備委工事	水中攪拌機10台の分解整備
2	No.1汚泥脱水設備分解整備工事	汚泥脱水機、造粒調質装置及び汚泥供給ポンプ

設備故障状況及び処置概要		
年月	名称及びその状況	処置方法
23 4	CRT監視制御装置2のリード—エラー発生	HDDの取替
	マイクロ波濃度計表示部不良	表示部取替
	汚泥処理棟生物脱臭装置pH計異常	pH電極交換
23 5	多目的広場夜間等単車新入対策	歩道部への車止めポール取付
	東側植樹用給水ユニット空気抜き弁より漏水	空気抜き弁修理
23 6	No1濃縮汚泥引抜きポンプ圧力計動作不良	圧力計取替
	西側植樹用給水ユニット配管ピンホール	修理
23 7	SP棟スクリーン室除湿機故障	除湿機取替(県)
	終沈管廊軸封水用配管腐食水漏れ	配管修理
	SP棟スクリーン室B3階架台塗装剥離	補修塗装
23 8	放流水サンプリングポンプ異音	ポンプ取替
	初沈及び反応槽管廊避難誘導灯不点灯	誘導灯取替
23 9	管理棟玄関ホール排煙窓開閉不良	開閉ハンドル修理
	No2造粒調質装置調質槽攪拌機異音	修理
	終沈水処理電気室エアコン異常	基盤取替
	生物脱臭送水ポンプ過負荷	軸受修理
23 10	SP棟B1火災報知機ベル不鳴動	ベル取替
	汚泥処理棟補機室蛍光灯不点灯	安定器取替
	No1汚泥ケーキ搬送コンベアリターンローラー異音	リターンローラ取替
	No1濃縮汚泥引抜きポンプ圧力計配管折損	配管修理
	No1水処理脱臭装置漏水	ドレントラップOリング取替
	No1-1無酸素槽攪拌機地絡	電動機取替
23 11	No2汚泥脱水機ろ布破損	ろ布取替
	SP棟軸封水ユニット圧力計不良	取替
	No1汚泥ケーキ貯留ホッパNo2ゲート破損	シャフト修理
23 12	多目的広場トイレシャッター開閉不良	鍵ベース交換
24 1	No2汚泥脱水機濃縮汚泥供給濃度計不良	基盤取替
	SP棟軸封水ユニットポンプ誤動作	基盤取替
	予備発電機地下重油タンクマンホールパッキン不良	パッキン取替
	管理棟2階男子用小便器水漏れ	排水管修理
	No2PAC貯留タンク引抜き弁不良(空気漏れ)	弁交換
24 2	砂ろ過棟空気槽ドレントラップ動作不良	トラップ取替(2ヶ)
	No1ヒートポンプチラー冷却水温計不良	水温計取替
	No4汚泥供給ポンプ圧力計不良	圧力計取替
24 3	No3洗浄用空気圧縮機逆思弁動作不良	分解整備

(11)水質試験業務

ア. 流入、放流水質試験

項目 月	気温	水温		透視度		pH		SS		BOD		COD		溶解性TOC	
	°C	°C		度		-		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位		流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	14.0	18.3	19.5	4	100	7.3	6.4	173	<1	143	0.3	107	6.3	32	5.9
5月	18.6	20.5	21.9	4	100	7.2	6.4	175	<1	134	3.3	116	7.0	30	4.6
6月	24.6	21.7	23.4	4	100	7.1	6.3	176	<1	95	1.8	106	6.7	28	3.9
7月	27.2	24.3	26.3	3	100	6.9	6.3	304	<1	124	2.5	138	9.5	31	5.0
8月	28.2	25.3	27.0	4	100	6.9	6.2	185	<1	123	1.8	109	7.8	36	5.3
9月	25.0	25.0	26.2	4	100	7.0	6.3	130	<1	114	1.3	93	6.4	34	3.4
10月	19.5	23.4	23.9	4	100	7.2	6.5	184	<1	140	1.1	110	6.3	35	3.3
11月	15.1	21.9	21.9	3	100	7.2	6.3	181	<1	135	1.0	118	6.8	36	4.2
12月	9.3	19.7	19.9	3	100	7.0	6.3	308	<1	195	1.1	157	7.0	30	3.8
1月	5.7	17.3	17.7	3	100	7.2	6.1	313	<1	228	1.7	179	7.4	37	4.7
2月	5.7	16.5	16.9	3	100	7.4	6.3	234	<1	220	0.8	142	7.3	32	5.4
3月	8.8	17.0	17.6	4	100	7.6	6.5	182	<1	223	0.9	117	6.8	29	3.7
最高	31.3	25.8	28.1	9	100	8.0	6.8	920	8	330	10.0	440	15.0	44	6.5
最低	2.3	20.5	12.9	1	90	6.2	5.9	26	<1	63	0.2	44	5.2	25	2.7
平均	16.9	20.9	21.9	4	100	7.2	6.3	210	0	160	1.4	120	7.1	32	4.4
測定回数	245	245	244	245	244	245	244	244	244	53	51	245	244	24	24
放流基準値			—		—		5.8~8.6		40		20		—		—

項目 月	電気伝導率		大腸菌群数		遊離 残留塩素	全蒸発残留物		強熱減量		塩化物イオン		よう素消費量		全窒素	
	mS/m		個/cm ³		mg/l	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月			64,500	21	0.02	403	225	233	57	48	57	18		33	6.7
5月			30,333	18	0.02	460	223	283	52	45	49	17		33	5.9
6月			65,600	11	0.02	396	236	238	77	47	49	19		34	6.4
7月			80,750	40	0.02	458	240	278	80	47	50	31		34	7.0
8月			110,500	71	0.02	418	248	240	88	48	48	21		31	6.4
9月			91,200	46	0.02	414	220	230	68	45	48	14		29	5.6
10月			80,750	60	0.03	543	220	355	56	44	43	19		34	5.7
11月			71,500	52	0.02	438	235	260	58	44	46	15		34	6.0
12月			54,000	20	0.02	563	215	373	54	45	45	18		40	5.6
1月			81,500	10	0.02	510	218	330	58	44	47	20		44	6.3
2月			31,500	8	0.02	435	215	265	59	43	44	19		40	6.5
3月			24,000	5	0.01	412	218	286	61	43	46	11		33	6.5
最高			160,000	130	0.06	690	310	500	140	55	68	53		57	9.2
最低			10,000	0	<0.01	270	150	120	26	36	39	7		19	4.7
平均			66,000	31	0.02	450	230	280	64	45	47	18		35	6.2
測定回数			51	98	243	51	51	51	51	52	52	50		101	101
放流基準値		—		3000	—		—		—		—		—		10

項目 月	NH ₄ ⁺ -N		NO ₂ ⁻ -N		NO ₃ ⁻ -N		全りん		PO ₄ ³⁻ -P		色度		濁度		陰イオン 界面活性剤	
	mgN/l		mgN/l		mgN/l		mg/l		mgP/l		度		度		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	22	<0.1	0.3	<0.1	0.1	5.4	3.7	0.2	1.5	0.1						
5月	20	<0.1	<0.1	<0.1	0.6	5.0	4.4	0.3	1.7	0.2						
6月	22	<0.1	0.9	<0.1	0.7	5.0	4.0	0.3	1.8	0.2						
7月	20	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5.1	5.4	0.4	1.6	0.3						
8月	21	<0.1	1.1	<0.1	<0.1	4.9	3.9	0.1	1.6	<0.1						
9月	20	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	4.4	3.2	<0.1	1.4	<0.1						
10月	22	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.5	4.2	<0.1	1.6	<0.1						
11月	23	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5.3	3.8	0.1	1.6	<0.1						
12月	23	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5.2	5.7	0.1	2.4	<0.1						
1月	26	<0.1	0.1	<0.1	0.4	5.7	5.7	0.1	2.6	<0.1						
2月	26	<0.1	0.1	<0.1	0.3	5.8	5.6	0.1	2.5	0.1						
3月	23	<0.1	0.2	<0.1	<0.1	5.7	4.8	0.2	2.4	0.1						
最高	33	1.9	1.1	<0.1	0.7	6.2	8.8	0.7	3.4	0.4						
最低	15	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	4.0	1.9	<0.1	1.0	<0.1						
平均	22	0	0	0	0	5.2	4.5	0.2	1.9	0.2						
測定回数	100	101	100	100	100	100	101	101	100	99						
放流基準値		—		—		—		1		—		—		—		—

項目 月	n-ヘキサン 抽出物質		フェノール類		銅		亜鉛		溶解性鉄		溶解性マンガン		全クロム		カドミウム	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
区分	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	38	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
5月	33	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
6月	50	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
7月	34	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
8月	28	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
9月	19	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
10月	26	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
11月	29	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
12月	39	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
1月	41	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
2月	29	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
3月	29	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最高	67	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
最低	11	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
平均	33	<0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.05	<0.05	<0.01	<0.01
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		錳物油 5 動植物油 30		1		1		2		10		10		2		0.1

項目 月	1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		弗素	
	mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
5月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
6月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
7月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
8月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
9月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
10月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
11月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
12月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
1月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
2月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
3月	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最高	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
最低	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
平均	<0.006	<0.006	<0.002	<0.002	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5
測定回数	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
放流基準値		0.06		0.02		0.06		0.03		0.2		0.1		0.1		8

項目 月	ほう素		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計	
	mg/l		mg/l	
単位	流入	放流	流入	放流
4月	<1	<1	9.3	5.3
5月	<1	<1	8.0	4.8
6月	<1	<1	11	5.1
7月	<1	<1	8.8	5.5
8月	<1	<1	8.8	5.4
9月	<1	<1	7.2	4.5
10月	<1	<1	8.4	4.7
11月	<1	<1	9.6	5.0
12月	<1	<1	9.2	6.0
1月	<1	<1	11	6.3
2月	<1	<1	9.6	6.3
3月	<1	<1	9.6	5.4
最高	<1	<1	12	6.3
最低	<1	<1	6.4	4.3
平均	<1	<1	9.2	5.4
測定回数	24	24	21	21
放流基準値		10		100

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、“100度”として算出してある。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の（ ）内の数値は日間平均値を示す。

イ. 生物反応槽試験

1系-1

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C									
4月	19.9	6.0	1.5	57	2,450	233	2,001	83	6.0	2.5
5月	22.2	6.1	1.6	71	2,596	275	2,197	84	7.2	2.8
6月	23.4	6.0	2.4	61	2,275	268	1,909	83	6.6	2.9
7月	25.9	6.1	1.6	29	2,049	144	1,645	82	8.6	4.2
8月	26.9	6.1	1.3	30	2,647	115	2,179	84	15.0	6.2
9月	26.3	6.1	1.3	54	2,756	199	2,325	84	10.8	3.9
10月	24.8	6.2	1.5	76	2,564	299	2,168	85	8.6	3.4
11月	23.0	6.0	1.5	70	2,587	273	2,226	84	8.4	3.2
12月	20.7	6.0	1.6	72	2,852	252	2,394	85	9.6	3.4
1月	18.9	6.0	1.9	63	2,778	225	2,398	85	10.5	3.7
2月	18.1	6.1	1.5	59	2,634	223	2,266	84	10.1	3.8
3月	18.7	6.4	1.4	64	2,478	259	2,083	83	9.4	3.8
最高	28.0	6.6	3.8	83	3,460	330	2,550	86	22.0	9.9
最低	17.7	5.7	0.1	23	1,680	100	1,470	81	5.0	2.1
平均	22.5	6.1	1.6	58	2,552	229	2,157	84	9.3	3.6
測定回数	244	244	244	244	244	244	99	99	100	100

1系-2

項目	水温	pH	MLDO	SV30	MLSS	SVI	MLVSS	有機分	Rr	Kr
	°C									
4月	19.9	6.0	1.7	70	2,288	308	1,863	83	6.2	2.8
5月	22.1	6.1	1.6	74	2,308	321	1,953	83	8.2	3.5
6月	23.3	6.0	2.8	60	2,185	274	1,802	82	9.4	4.3
7月	26.0	6.2	2.1	16	2,084	78	1,682	79	16.6	8.2
8月	26.9	6.1	2.0	24	2,757	87	2,231	81	17.7	6.6
9月	26.3	6.1	1.5	40	2,667	149	2,240	83	13.4	5.0
10月	24.7	6.1	1.7	65	2,556	258	2,179	84	11.3	4.4
11月	22.9	6.0	1.6	78	2,635	297	2,209	84	8.5	3.3
12月	20.7	6.0	1.8	82	2,789	295	2,384	84	9.2	3.3
1月	18.8	6.0	2.6	78	2,991	262	2,561	84	10.7	3.5
2月	18.1	6.1	2.4	70	2,751	255	2,351	84	9.6	3.4
3月	18.7	6.3	1.8	73	2,571	283	2,172	83	10.3	3.9
最高	28.1	6.5	4.7	86	3,190	380	2,690	86	24.0	10.0
最低	17.9	5.7	1.0	11	1,570	60	1,390	78	4.0	1.8
平均	22.4	6.1	2.0	60	2,547	237	2,141	83	10.9	4.3
測定回数	244	244	244	244	244	244	99	99	100	100

ウ. 返送汚泥試験

1系-1

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	℃	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	19.7	6.1	100	9,941	103	7,981	83
5月	22.0	6.2	100	10,374	97	8,481	84
6月	23.2	6.2	100	8,861	115	7,164	83
7月	25.9	6.1	100	7,186	142	5,353	82
8月	26.8	6.2	100	10,810	94	8,486	84
9月	26.2	6.2	100	11,000	91	9,135	84
10月	24.6	6.3	100	10,885	92	9,064	85
11月	22.8	6.3	100	11,185	91	9,499	84
12月	20.7	6.1	100	11,253	88	9,608	85
1月	18.5	6.1	100	10,861	94	9,274	85
2月	17.5	6.2	100	10,776	93	9,259	85
3月	18.3	6.0	100	10,032	101	8,447	84
最高	27.7	6.6	100	13,400	170	11,000	86
最低	16.6	5.7	98	5,800	70	4,830	81
平均	22.2	6.2	100	10,253	100	8,535	84
測定回数	244	244	244	244	244	99	99

1系-2

項目	水温	pH	SV30	RSSS	SVI	RSVSS	有機分
	℃	—	%	mg/l	ml/g	mg/l	%
4月	19.7	6.1	100	8,719	116	6,983	83
5月	22.0	6.2	100	9,365	107	7,823	84
6月	23.2	6.1	100	8,270	122	6,541	82
7月	26.0	6.2	90	7,442	122	5,735	79
8月	26.8	6.1	100	11,358	90	8,842	81
9月	26.2	6.2	100	11,749	86	9,705	83
10月	24.5	6.2	100	11,685	85	9,821	84
11月	22.8	6.2	100	12,170	82	10,175	84
12月	20.7	6.1	100	11,774	86	9,859	85
1月	18.4	6.1	100	11,337	88	9,781	84
2月	17.6	6.2	100	10,488	95	9,270	84
3月	18.3	6.3	100	9,860	102	7,376	84
最高	27.5	6.5	100	14,100	160	11,600	85
最低	16.7	5.7	52	5,550	70	100	78
平均	22.2	6.2	99	10,339	98	8,527	83
測定回数	244	244	244	244	244	99	99

- 1 数値は各月の平均値である。
- 2 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
- 3 「平均」は月平均値の平均値である。

エ. 脱水汚泥試験

(ア)含有量試験(脱水汚泥)

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
5月16日	61	23	78.8	84.7	
8月15日	46	24	77.1	83.0	
11月14日	48	17	73.4	89.1	
2月13日	48	15	75.2	89.3	
最高	61	24	78.8	89.3	0
最低	46	15	73.4	83.0	0
平均	51	20	76.1	86.5	#DIV/0!
測定回数	4	4	4	4	0

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(イ)含有量試験(しき汚泥)

項目 月	全窒素	全りん	含水率	強熱減量	発熱量
単位	mg/g-乾	mg/g-乾	%	%	J/g
1月30日	25	3.4	77.6	95.3	-

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(ウ)溶出試験(脱水汚泥)

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月16日	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月15日	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月14日	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月13日	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ ⁺
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月30日	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月15日	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月14日	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月13日	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
5月13日	<0.01	<0.01
8月6日	<0.01	<0.01
11月14日	<0.01	<0.01
2月13日	<0.01	<0.01
最高	<0.01	<0.01
最低	<0.01	<0.01
平均	<0.01	<0.01
測定回数	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(エ)溶出試験(しき汚泥)

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月30日	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月30日	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02

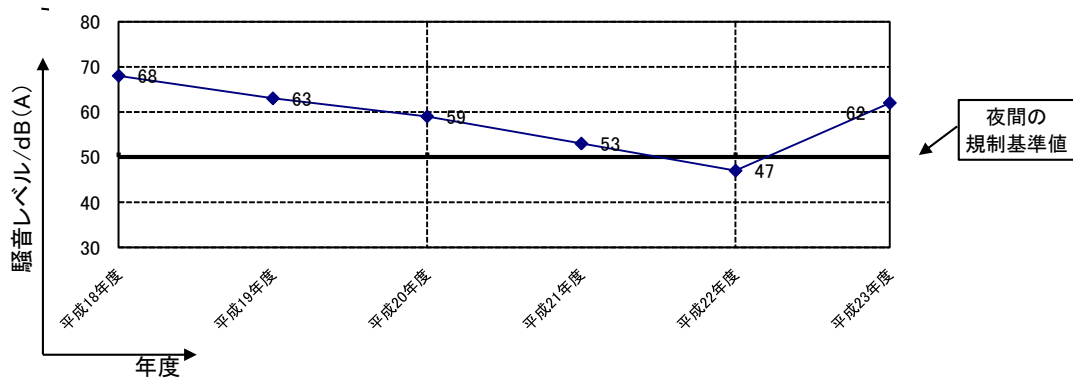
項目 月	ベンゼン	セレン
単位	mg/l	mg/l
1月30日	<0.01	<0.01

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(宮川浄化センター)

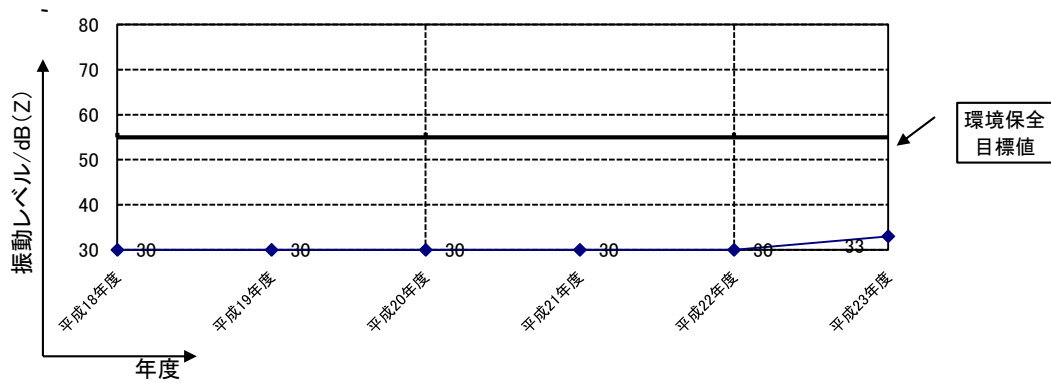
ア 騒音調査 (夜間)



(備考)

- 1.各年度における最高値(◆)を表示。
(8地点×2回/年分)
- 2.三重県生活環境の保全に関する条例の「その他の地域」に該当するため夜間規制基準の50dBを基準線として表示した。
- 3.最高値は、春から夏の時期の虫等の鳴き声による影響が大きい。

イ 振動調査



(備考)

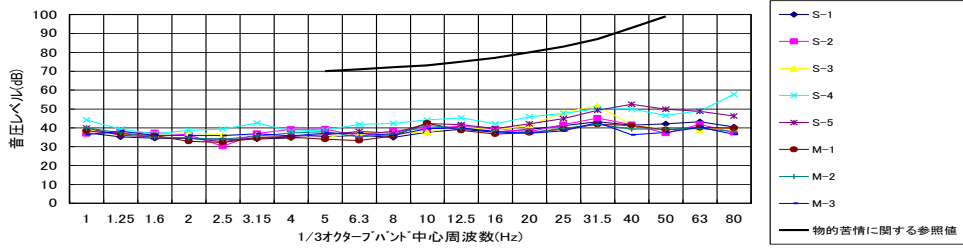
- 1.各年度における最高値(◆)を表示。
(8地点×2回/年分)
- 2.周辺住居地域において55dB以下を環境保全目標としているため、55dBを基準線として表示した。

ウ 低周波音調査
1.1/3オクターブバンド音圧レベル

(春季) 単位: dB

調査地点	中心周波数 (Hz)																	A.P.														
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40		50	63	80											
敷地境界	S-1	37	35	34	34	34	34	35	35	36	35	38	39	38	39	41	43	41	42	43	40	52										
	S-2	37	38	37	36	30	37	39	39	36	38	40	41	39	38	42	45	49	37	42	37	52										
	S-3	39	38	37	37	36	36	35	35	37	37	38	40	39	41	48	52	41	39	39	40	55										
	S-4	44	39	37	39	39	42	38	39	42	42	44	45	42	46	48	50	50	47	49	53	61										
	S-5	40	36	35	34	33	35	35	36	38	37	42	42	40	42	45	49	52	50	49	46	58										
直近民地	M-1	38	37	36	33	32	34	35	34	33	36	42	39	37	37	39	42	41	39	40	40	51										
	M-2	40	37	35	35	34	36	37	38	35	37	41	40	38	37	40	42	39	39	40	38	51										
	M-3	36	38	36	36	36	37	36	37	37	36	39	40	38	37	38	43	36	37	40	37	51										
物理的苦情に関する参照値																						70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99

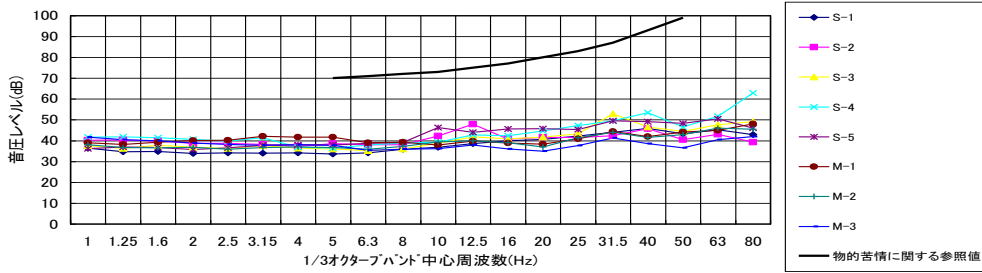
※単位はdB
※A.P. は1~80Hzの全音圧レベルを示す。
※測定は5月16日13時~5月17日8時の間で騒音振動測定と同時に、風、自動車、飛行機等の影響が最も少ない時間帯のデータを採用した。
※低周波音レベル計の高さは、風による測定値への影響を避けるため地上0mにて測定した。



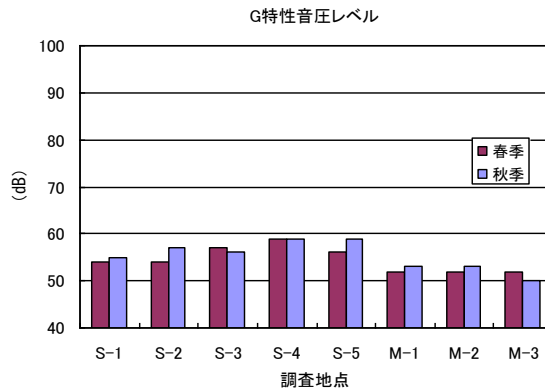
(秋季) 単位: dB

調査地点	中心周波数 (Hz)																	A.P.														
	1	1.25	1.6	2	2.5	3.15	4	5	6.3	8	10	12.5	16	20	25	31.5	40		50	63	80											
敷地境界	S-1	36	35	35	34	34	34	34	34	34	36	37	39	40	41	42	44	46	43	45	43	53										
	S-2	40	40	40	39	39	38	37	39	38	38	42	48	41	42	42	42	46	41	43	39	55										
	S-3	38	36	38	37	36	38	36	36	35	36	39	42	41	42	43	53	47	44	48	49	57										
	S-4	42	42	41	41	40	41	37	36	38	39	39	43	42	45	47	50	53	47	52	63	64										
	S-5	36	37	37	36	37	38	38	38	39	39	46	44	46	46	45	50	49	48	50	46	58										
直近民地	M-1	39	38	39	40	40	42	42	42	39	39	38	40	39	38	41	44	42	44	45	48	55										
	M-2	38	37	37	37	36	37	37	36	37	39	40	39	37	41	44	42	43	46	46	54											
	M-3	42	41	40	39	38	38	38	38	35	36	36	38	36	35	38	41	39	37	41	42	52										
物理的苦情に関する参照値																						70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99

※単位はdB
※A.P. は1~80Hzの全音圧レベルを示す。
※測定は10月4日13時~10月4日22時の間及び10月7日22時~10月8日8時の間で騒音振動測定と同時に、風、自動車、飛行機等の影響が最も少ない時間帯のデータを採用した。
※低周波音レベル計の高さは、風による測定値への影響を避けるため地上0mにて測定した。



2.G特性音圧レベル



(備考)
心身の苦情に関する参照値92dBを基準線として表示した。

エ 悪臭調査

(ア)臭覚測定

項目 \ 年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
臭気指数	29	21	20	15	27	15

(備考)

1.各年度における最高値を表示(12地点×2回/年)。

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目 \ 年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
アンモニア	<0.1	0.2	0.4	0.1	0.2	<0.1
メチルメルカプタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素	0.028	<0.002	<0.002	0.004	<0.002	<0.002
硫化メチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009
二硫化メチル	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009
トリメチルアミン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ノルマル酪酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0001
ノルマル吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.00009
イソ吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0001

(備考)

1.各年度における最高値を表示(12地点×2回/年)。

2.他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているがすべて報告下限値未満であった。

オ 水質調査
生活環境項目

(単位:表示の無いものはmg/l)

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
透明度 (m)		2.0	1.5	1.5	1.0	1.3	1.5
pH (-)		7.9~8.2	7.9~8.3	7.8~8.0	7.8~8.1	7.8~8.1	8.0~8.1
溶存酸素		5.8~9.6	5.8~10	5.5~9.7	5.2~9.4	5.0~10	6.9~10
COD		3.0	3.0	2.9	3.1	2.5	3.2
全窒素		0.64	0.4	0.38	0.44	0.56	0.36
全りん		0.094	0.06	0.07	0.043	0.050	0.054
残留塩素		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.01	0.018
浮遊物質		12	4	8	5	4	23
大腸菌群数(MPN/100ml)		5,400	940	1,300	350	1,700	1,100

(備考)

- 放流口最寄地点における各年度の最高値。
(5地点×4回/年。ただし、透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を表示。)
- 他に健康項目27項目の調査を実施している。

カ 底質調査
乾泥あたり含有量

(単位:表示の無いものはmg/kg)

項目	年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
C O D (mg/g)		6	5	4	7	7	13
n-ヘキサン抽出物質		83	200	200	100	51	270
カドミウム		<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1
全シアン		<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛		10	15	5	12	12	6
六価クロム		<1	<1	<1	<1	<1	<1
砒素		3.6	3.5	5.9	2.3	1.8	5.0
総水銀		2.60	0.18	0.33	0.68	0.33	0.15
アルキル水銀		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)		1.0	0.4	0.3	0.7	0.7	0.6
全りん (mg/g)		0.30	0.40	0.30	0.30	0.30	0.3
硫化物 (mg/g)		0.06	0.10	0.08	0.28	0.05	0.05
含水率 (%)		25.6	24.7	28.0	25.3	26.5	24.9
強熱減量 (%)		2.8	3.0	2.8	3.4	3.4	3.7
ダイオキシン類(pg-TEQ/)		3.0	3.0	3.2	3.7	3.6	2.9

(備考)

- 放流口最寄地点における調査結果 (1地点×2回/年)
- 他に溶出試験7項目を実施しているが、すべて報告下限値未満であった。